

第一礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師



プレイズリード: 郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「主イエス様はぶどうの木」	会衆	
	「すばらしい主を」		
聖書朗読	創世記 32:23~33	司会	
祈禱	(旧約聖書 P56)	司会	
証し			
賛美	新生讚美歌 6	会衆	
メッセージ	「神との出会い〜ペ・スエル」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	讚美歌 516	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生 672b	会衆	
祝禱		牧師	

**第二礼拝次第**

メッセージ: 伊禮信義先生

聖書: マタイ 18:21~35 (新約 P.35)

メッセージ: 「憐れみと赦しの主人」

プレイズ: 「主イエス様はぶどうの木」

「すばらしい主を」

賛美: 新生 357 新生 385

**ファミリー礼拝**

聖書: 使徒 10:9~16

メッセージ: 「異邦人コルネリウス」

<巻頭言>

「極東アジア和解フォーラム in 沖縄」

牧師 渡真利彦文

7月28日から8月1日、極東アジア和解フォーラムが当教会で開催されます。私は、かつて2017年韓国・ジェジュ島、1918年京都でのフォーラムに参加しました。いずれのフォーラムも自然に恵まれた環境の中で行われました。今回の参加者は中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、日本、そしてアメリカから約90人~100人を予定しています。アメリカのデューク神学大学の呼びかけにより委員会が立ち上がり、今年は沖縄にて12回目の開催となります。その内容は、極東アジア諸国が直面している社会問題や教会の持っている課題を話しあうことです。特に沖縄の歴史に学び、その「和解と回復力」を考えていきます。同時に参加者の霊性、人間関係が取り扱われ、癒される体験となります。

ジェジュ島(済州島)や京都では自然に触れることで、心身ともにリフレッシュできました。沖縄開催においても神の創造された自然の恵みを喜ぶことでしよう。沖縄は戦後80年を数えますが、依然として戦後は終わらず、痛みを持ち続けています。戦中戦後の痛みを証人から聴き、佐喜真美術館の展示に目が開かれ、ガマ(洞窟)を訪ね戦争の闇の部分を経験することもプログラムに組み込まれています。

沖縄の自然に触れ、沖縄の人々の心に触れ、主にある和解を国や民族や文化を超えて実現していく機会となると思います。沖縄から世界へ御言葉に基づく「平和」を発信する集いとなるよう祈ります。